

商学部生各位

2020 年度秋学期 中間試験受験上の注意

商学部

以下に、オンラインで試験を受験する際の注意事項を記載しますので、最後まで確認してください。

記

**1. 試験受験上の注意点**

① 通信環境について

オンラインで試験を受験する場合、事前に通信環境を整える必要があります。トラブルなく受験するために、**できるだけ有線 LAN ケーブルを使用することを推奨します。**

**しかし**、無線 LAN (Wi-Fi) を使用している場合、以下の点に注意してください。

A) 無線 LAN への接続

同じ無線 LAN ルーター (やアクセスポイント) に接続している端末が多すぎると、回線が込み合って通信速度が遅くなったり、不安定になったりすることがあります。接続している一部の端末で動画視聴など大量のデータ通信を続けている場合も同様です。試験の前に、不要な端末の接続を解除する、負荷の大きい処理が行われていないかを確認してください。

B) 無線 LAN ルーター

無線 LAN ルーター (やアクセスポイント) から離れすぎると電波が弱くなるため、近づくことで改善される場合があります。また、以下のような場所に無線 LAN ルーターを設置していると電波が遮られ、繋がりにくくなりますので注意してください。

<無線 LAN ルーターの置き場に適さない場所>

- ・周りに障害物が多い場所
- ・水槽や花瓶など水の多い場所の近く
- ・金属の近く

自宅で通信環境を整えることが難しい場合には、大学内のオンライン授業受講スペースの活用を検討してください。使用できるオンライン授業受講スペースは、早稲田大学 HP

(<https://www.waseda.jp/top/news/69563>) を確認してください。

**個別の環境に起因するトラブルについては原則考慮されませんので、事前に必ず自身の通信環境について確認してください。**

② Waseda Moodle について

A) 推奨環境

Waseda Moodle は、推奨環境で使用してください。使用しているブラウザが利用可能かは、以下のURLで確認可能です。

<https://www.wnpspt.waseda.jp/browsercheck/>

B) タイムアウトについて

Waseda Moodle は、長時間ログインしている場合、自動的にタイムアウトするようになっています。途中でタイムアウトしてしまうと、記入した回答がすべて消えてしまうことがあります。**課題の作成・試験受験の前には、必ず一度ログアウトしてから、再ログインを行ってください。**

C) 小テスト機能での試験について

小テスト機能では、「最終確認」ボタンを押した後、答案の内容が表示されます。この画面で「テストを終了する」ボタンを押すことで小テストの受験が完了します。ボタンを押さない場合、受験結果が正常に送信されないことがあります。**必ず制限時間内に「テストを終了する」ボタンを押してください。**

また、**次のような操作をすると、小テストの結果が正常に送信されない・タイムアウトしてしまう等の事象が起こります**ので、行わないでください。

- ・小テスト受講中に、Waseda Moodle の別の画面を操作する。
- ・ブラウザの複数のタブで Waseda Moodle を操作する。
- ・複数のブラウザで Waseda Moodle を操作する。
- ・ブラウザの戻るボタンで画面を切り替える。

D) 課題の提出について

課題機能において、使用しているブラウザ内に古い情報が残っていることで「課題を追加する」「変更を保存する」ボタンが押せないという不具合が起こる可能性があります。その場合は、キャッシュとCookieの削除を行ってください。操作方法は、早稲田大学 IT サービスナビ

(<http://www.waseda.jp/navi/faq/cache.html>) を参照してください。キャッシュ・Cookieの削除を行っても改善されない場合は、別のブラウザを使用してください。

## 2. 試験・レポートに関する問い合わせ

中間試験の実施方法等については、オンライン授業内での担当教員の指示に従ってください。ただし、Waseda Moodle についてなど技術的事柄に関して不明な点がある場合は、早稲田大学 IT サービスナビ (<https://www.waseda.jp/navi/inquiry.html>) を参照し、お問い合わせください。

### 3. 試験を受験できなかった場合

**試験前に各科目のアナウンスメントをよく読み、試験を受験できなかった場合の取り扱いを事前に確認してください。** 中間試験には、未済試験制度はありません。

以下の事情により試験を受験できない/できなかった場合には、欠席届を発行することができますが、欠席の取り扱いの最終的な判断は、担当教員の判断となり、試験を受験できなかったことに対する救済措置を保証するものではありません。

- ① 忌引き
- ② 裁判員候補者に指名され、裁判所に出頭した場合
- ③ 病気や怪我を負った場合
- ④ 交通機関の乱れや弾道ミサイル発射に伴うJアラート発信等により、通学が危険又は困難であると自身で判断し、通学を見合わせた場合、他の科目と試験時間割が重複した場合

**※就職活動・インターンシップは含まれません。**

<欠席届発行手順>

#### ① 忌引きの場合

##### ◆忌引きの対象および日数

対象：1 親等（親、子）、2 親等（兄弟姉妹、祖父母、孫） および配偶者

日数：授業実施日連続 7 日まで

##### ◆手続方法

以下の書類を商学部事務所 ([w16aa@list.waseda.jp](mailto:w16aa@list.waseda.jp)) に提出する。

- ・[忌引きによる欠席届（表）](#) / [忌引きによる授業欠席等に関する取扱いのお願い（裏）](#)
- ・欠席理由を証明するもの（会葬礼状等）

#### ② ～ ④ の場合

##### ◆手続方法

以下の書類を商学部事務所 ([w16aa@list.waseda.jp](mailto:w16aa@list.waseda.jp)) に提出する。

- ・[裁判員制度に伴う配慮願](#) / [感染症等に伴う欠席届](#)
- ・欠席理由を証明するもの（診断書等）

※試験中に Waseda Moodle など大学のシステムに起因するトラブルが発生した場合は、MyWaseda または早稲田大学 IT サービスナビ (<https://www.waseda.jp/navi/>) に情報が掲示されますので、個別の環境に起因しないと思われるトラブルの発生時には確認するようにください。

#### 4. 不正行為

試験やレポート等における不正行為者に対しては、学部運営委員会において審議の上、退学または当該科目を含むすべての科目の評価を「F（不可）」とした上で無期停学に付されます。

オンライン上の試験・レポートであっても同様です。Waseda Moodle の課題機能には「Turnitin」（ターンイットイン）という類似度判定機能が実装されています。「Turnitin」（ターンイットイン）は、履修者から提出されるレポートや課題の内容を、他の履修者の提出物や、インターネット上の情報と照会し、既存情報との類似度を判定します。よって、**他の履修者と協力して答案を作成する、インターネット上の情報をコピーアンドペーストするなどの行為は、システム上判明する仕組みとなっているので、絶対に行わないでください。**

以上